

歯科研修医評価票Ⅰ,Ⅱ(指導医評価)

研修医名		プログラム責任者	
指導医氏名		役 職	
記載日	令和 年 月 日	観察期間	令和 年 月 日

評価票Ⅰ「A. 歯科医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価

レベル	1:期待を大きく下回る 2:期待を下回る 3:期待通り 4:期待を大きく上回る -:観察機会なし	1(%)	2	3	4	-
A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与:	社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。	☐	☐	☐	☐	☐
A-2. 利他的な態度:	患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する	☐	☐	☐	☐	☐
A-3. 人間性の尊重:	患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。	☐	☐	☐	☐	☐
A-4. 自らを高める姿勢:	自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。	☐	☐	☐	☐	☐

コメント:印象に残るエピソードなど (※)レベルが「期待を大きく下回る」の場合は必ず記入をお願いします。

評価票Ⅱ「B. 資質・能力」に関する評価

レベル	1 臨床研修の開始時点で期待されるレベル(モデル・コア・カリキュラム相当)	3 臨床研修の終了時点で期待されるレベル(到達目標相当)
	2 臨床研修の中間時点で期待されるレベル	4 上級医として期待されるレベル

B-1. 医学・医療における倫理性:診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■医学・医療の歴史的な流れ、臨床倫理や生と死に係る倫理的問題、各種倫理に関する規範を概説できる。 ■患者の基本的権利、自己決定権の意義、患者の価値観、インフォームドコンセントとインフォームドアセントなどの意義と必要性を説明できる。 ■患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を理解した上で適切な取り扱いができる。	☐ 人間の尊厳と生命の不可侵性に関して尊重の念を示す。 ☐ 患者のプライバシーに最低限配慮し、守秘義務を果たす。 ☐ 倫理的ジレンマの存在を認識する。 ☐ 利益相反の存在を認識する。 ☐ 診療、研究、教育に必要な透明性確保と不正行為の防止を認識する。	☐ 人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。 ☐ 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。 ☐ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。 ☐ 利益相反を認識し、管理方針に準拠して対応する。 ☐ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	☐ モデルとなる行動を他者に示す。 ☐ モデルとなる行動を他者に示す。 ☐ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づいて多面的に判断し、対応する。 ☐ モデルとなる行動を他者に示す。 ☐ モデルとなる行動を他者に示す。
総合レベル	☐	☐	☐
コメント	観察機会なし ☐		

B-2. 医学知識と問題対応能力:最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■必要な課題を発見し、重要性・必要性に照らし、順位付けをし、解決にあたり、他の学習者や教員と協力してより良い具体的な方法を見出すことができる。適切な自己評価と改善のための方策を立てることができる。 ■講義、教科書、検索情報などを統合し、自らの考えを示すことができる。	☐ 頻度の高い症候について、基本的な鑑別診断を挙げ、初期対応を計画する。 ☐ 基本的な情報を収集し、医学的知見に基づいて臨床決断を検討する。 ☐ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案する。	☐ 頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。 ☐ 患者情報収集し、最新の医学的知見に基づいて患者の意向や生活の質に配慮した臨床決断を行う。 ☐ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	☐ 主な症候について、十分な鑑別診断と初期対応をする。 ☐ 患者に関する詳細な情報を収集し、最新の医学的知見と患者の意向や生活の質への配慮を統合した臨床決断をする。 ☐ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、患者背景、多職種連携も勘案して実行する。
総合レベル	☐	☐	☐
コメント	観察機会なし ☐		

B-3. 診療技能と患者ケア:臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■必要最低限の病歴を聴取し、網羅的に系統立てて、身体診察を行うことができる。 ■基本的な臨床技能を理解し、適切な態度で診断治療を行うことができる。 ■問題志向型医療記録形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。 ■緊急を要する病態、慢性疾患、に関して説明ができる。	☐ 必要最低限の患者の健康状態に関する情報を心理・社会的側面を含めて、安全に収集する。 ☐ 基本的な疾患の最適な治療を安全に実施する。 ☐ 最低限必要な情報を含んだ診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切に作成する。	☐ 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。 ☐ 患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。 ☐ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	☐ 複雑な症例において、患者の健康に関する情報を心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。 ☐ 複雑な疾患の最適な治療を患者の状態に合わせて安全に実施する。 ☐ 必要かつ十分な診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成でき、記載の模範を示せる。
総合レベル	☐	☐	☐
コメント	観察機会なし ☐		

B-4. コミュニケーション能力:患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■コミュニケーションの方法と技能、及ぼす影響を概説できる。 ■良好な人間関係を築くことができ、患者・家族に共感できる。 ■患者・家族の苦痛に配慮し、分かりやすい言葉で心理的社会的課題を把握し、整理できる。 ■患者の要望への対処の仕方を説明できる。	☐ 最低限の言葉遣い、態度、身だしなみで患者や家族に接する。 ☐ 患者や家族にとって必要最低限の情報を整理し、説明できる。指導医とともに患者の主体的な意思決定を支援する。 ☐ 患者や家族の主要なニーズを把握する。	☐ 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。 ☐ 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。 ☐ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	☐ 適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで、状況や患者家族の思いに合わせた態度で患者や家族に接する。 ☐ 患者や家族にとって必要かつ十分な情報を適切に整理し、分かりやすい言葉で説明し、医学的判断を加味した上で患者の主体的な意思決定を支援する。 ☐ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握し、統合する。
総合レベル	☐	☐	☐
コメント	観察機会なし ☐		

B-5. チーム医療の実践: 医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■チーム医療の意義を説明でき、(学生として)チームの一員として診療に参加できる。 ■自分の限界を認識し、他の医療従事者の援助を求めることができる。 ■チーム医療における医師の役割を説明できる。	☐ 単純な事例において、医療を提供する組織やチームの目的等を理解する。 ☐ 単純な事例において、チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	☐ 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。 ☐ チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	☐ 複雑な事例において、医療を提供する組織やチームの目的とチームの目的等を理解したうえで実践する。 ☐ チームの各構成員と情報を積極的に共有し、連携して最善のチーム医療を実践する。
総合 レベル	☐	☐	☐
コメント			
			観察 機会なし ☐

B-6. 医療の質と安全管理: 患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。 ■医療現場における報告・連絡・相談の重要性、医療文書の改ざんの違法性を説明できる。 ■医療安全管理体制の在り方、医療関連感染症の原因と防止に関して概説できる。	☐ 医療の質と患者安全の重要性を理解する。 ☐ 日常業務において、適切な頻度で報告、連絡、相談ができる。 ☐ 一般的な医療事故等の予防と事後対応の必要性を理解する。 ☐ 医療従事者の健康管理と自らの健康管理の必要性を理解する。	☐ 医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。 ☐ 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。 ☐ 医療事故等の予防と事後の対応を行う。 ☐ 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。	☐ 医療の質と患者安全について、日常的に認識・評価し、改善を提言する。 ☐ 報告・連絡・相談を実践するとともに、報告・連絡・相談に対応する。 ☐ 非典型的な医療事故等を個別に分析し、予防と事後対応を行う。 ☐ 自らの健康管理、他の医療従事者の健康管理に努める。
総合 レベル	☐	☐	☐
コメント			
			観察 機会なし ☐

B-7. 社会における歯科医療の実践: 医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会に貢献する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■離島・へき地を含む地域社会における医療の状況、医師偏在の現状を概説できる。 ■医療計画及び地域医療構想、地域包括ケア、地域保健などを説明できる。 ■災害医療を説明できる。 ■(学生として)地域医療に積極的に参加・貢献する。	☐ 保健医療に関する法規・制度を理解する。 ☐ 健康保険、公費負担医療の制度を理解する。 ☐ 地域の健康問題やニーズを把握する重要性を理解する。 ☐ 予防医療・保健・健康増進の必要性を理解する。 ☐ 地域包括ケアシステムを理解する。 ☐ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要が起こりうることを理解する。	☐ 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。 ☐ 医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。 ☐ 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。 ☐ 予防医療・保健・健康増進に努める。 ☐ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。 ☐ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。	☐ 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解し、実臨床に適用する。 ☐ 健康保険、公費負担医療の適用の可否を判断し、適切に活用する。 ☐ 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案・実行する。 ☐ 予防医療・保健・健康増進について具体的な改善案などを提示する。 ☐ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に積極的に参画する。 ☐ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要を想定し、組織的な対応を主導する実際に対応する。
総合 レベル	☐	☐	☐
コメント			
			観察 機会なし ☐

B-8. 科学的探究: 医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■研究は医学・医療の発展や患者の利益の増進のために行われることを説明できる。 ■生命科学の講義、実習、患者や疾患の分析から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。	☐ 医療上の疑問点を認識する。 ☐ 科学的研究方法を理解する。 ☐ 臨床研究や治験の意義を理解する。	☐ 医療上の疑問点を研究課題に変換する。 ☐ 科学的研究方法を理解し、活用する。 ☐ 臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。	☐ 医療上の疑問点を研究課題に変換し、研究計画を立案する。 ☐ 科学的研究方法を目的に合わせて活用実践する。 ☐ 臨床研究や治験の意義を理解し、実臨床で協力・実施する。
総合 レベル	☐	☐	☐
コメント			
			観察 機会なし ☐

B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢: 医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
■生涯学習の重要性を説明でき、継続的学習に必要な情報を収集できる。	☐ 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収の必要性を認識する。 ☐ 同僚、後輩、医師以外の医療職から学ぶ姿勢を維持する。 ☐ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)の重要性を認識する。	☐ 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。 ☐ 同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。 ☐ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握する。	☐ 急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収のために、常に自己省察し、自己研鑽のために努力する。 ☐ 同僚、後輩、医師以外の医療職と共に研鑽しながら、後進を育成する。 ☐ 国内外の政策や医学及び医療の最新動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握し、実臨床に活用する。
総合 レベル	☐	☐	☐
コメント			
			観察 機会なし ☐

総合コメント: 印象に残るエピソードなど